

日本共産党

杉並区議会議員・党区議団長

くすやま 美紀 みき

◆くすやま美紀（樟山みき）プロフィール

1963年福島県生まれ。東京観光専門学校卒業後、東友会（被爆者団体）事務局、西荻窪診療所等に勤務。1999年杉並区議会議員初当選。現在5期。区議会保健福祉委員長、区民生活委員長、党区議団幹事長等歴任。党区議団長。趣味は、音楽・映画・絵画鑑賞。



WEB: <http://yuiuidori.net/jcpskd-kusuyama/>



許さない

児童館・ゆうゆう館の廃止 公用車の乱用・税金の浪費

いのちとくらし 最優先の区政へ



みなさんに支えていただき、5期20年区議会議員として活動し、日本共産党杉並区議団の団長も務めてきました。くらしに苦しむ人々にこそ政治の光を、命と平和を守ることは政治の責任——そうした思いで活動してきました。区政でも国政でも暴走政治が横行しているとき、私はみなさんと力を合わせ、暴走政治ストップ、区民が大切にされる区政をめざし、全力を尽くします。

くすやま美紀の公約

- 区立施設リストラ計画ストップ
- 区立施設使用料の値下げ
- 国保料、介護保険料の引き下げ
- 特養ホーム、認可保育園の増設
- 障害者施策の拡充
- 水害、地震に強いまちづくり
- 学校トイレの洋式化、体育館へのエアコン設置を促進
- 学校給食費の無償化
- 公契約条例の制定

暴走政治
ストップ!

9条改憲、消費税10%増税ノー

くらしの困難にこそ 区政のひかりを!

家計に重い負担となっている国民健康保険料の負担軽減や子ども食堂への支援の必要性を認めさせ、認知症グループホームの家賃助成、学校給食費の無償化を区議会で初めて提案。区民のくらしへの支援を区に迫り続けてきました。

子育て世帯の国保料軽減条例を提案

6月の区議会に多子世帯の国保料を軽減する条例を提案。多数を握る与党も反対できず、いったん継続審議となりましたが、12月議会で、自民・公明・立憲民主などが反対し、否決されました。

防災対策 積極提案で実現

- 感震ブレーカー設置助成
- 危険なブロック塀対策の実施
- 善福寺川緑地、荻窪2・4丁目付近の地下へ雨水貯留施設整備

感震ブレーカーの普及の必要性を区議会でいち早く提言。

水害のたびに現地に住民の声を聞き、都に申し入れるとともに、区議会で防災対策の強化を求めてきました。



都の下水道局に申し入れ

UR団地跡地に特養ホーム整備

認可保育園、特養ホーム増設は、私が一貫して取り組んできた課題。荻窪3丁目UR団地跡地への特養ホーム整備を求め実現しました。

学校トイレの洋式化、体育館へのエアコン設置

杉並区の学校トイレ洋式化率は23区で19位。共産党区議団の指摘に、区も計画的に整備すると答弁。体育館へのエアコン設置は、区長も必要性を認め、「今後検討」と答弁しました。

就学援助 入学準備金前倒し支給へ

準要保護世帯に対する入学準備金を入学前に支給するよう粘り強く要求。中学生は来年3月から、小学生は再来年3月から実施が決定。また、入学準備金額についても来年度から増額の方針が示されました。

区民とともに

あんさんぶる荻窪 廃止やめよとがんばる



住民と区が協働でつくった「あんさんぶる荻窪」。田中区長は住民の声を無視して廃止してしまいましたが、くすやまさんは、地域のみなさんの声を届け、何度も区長を追及してくれました。くすやまさんの奮闘に感謝しています。(南荻窪会会長・大林秀雄)

区議会で
13回追及!

区長公用車の乱脈利用をただす

運用見直しへ



日本共産党区議団は、区長が公用車を選挙応援に利用し、深夜まで乗り回している実態を告発。マスコミも注目し報道しました。党区議団の指摘を受け、区は、23区で初めて区長車の使用基準を策定。

私は、団長として区議団の取り組みをリードしました。

美紀
くすやま

区民の願い実現に全力

